

～ Smile いっぱい！ かがやく湯江っ子のために ～

SCRUM



島原市立湯江小学校

学校だより No.15

令和6年9月2日(月)

文責：校長 大槻浩二

2学期も Smile & Power up

44日間の夏休みを終え、2学期がスタートしました。最後に大きな台風接近により被害が心配されました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

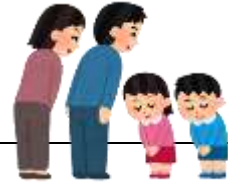
始業式を迎えた子どもたちの表情からは、それぞれに充実した楽しい44日間を過ごしたことが伺えました。各家庭での夏休み中の見守りのご指導に心より感謝いたします。

本年の学校テーマは、「Smile & Power up」です。2学期は、さらに子どもたちの力を伸ばすことができるように、1学期の取組みをさらにレベルアップさせていきます。子どもたちがお互いの良さを認め合い、Smile いっぱいの学校・学級になることを目指します。

今日の始業式では、1学期よりもさらにPower upするために下記の3つの重点取組を話しました。

1. みんなが やさしくなれる 言葉の力をつける
2. 友だちの よいところを見つける 目を持つ
3. 「あすなろそうち」のPower up

- ①あいさつ
- ②ろうか
- ③そうじ



2学期も子どもたちが確実に成長できるように支援して参ります。引き続き、ご支援とご協力をお願いします。

一学期にがんばりたいこと

五年 宮崎 結生

五年生の2学期が始まりました。みなさんは、どんな目標を立てましたか。私が、2学期にがんばりたいことは二つです。一つ目は、一泊二日の宿泊体験学習を成功させることです。みんなで協力していろんなことに挑戦しますが、その中でもカレー作りと沢登りが楽しみます。

まきに火をつけてご飯を炊いたり、包丁で野菜を切ったりします。自然の家には、皮むき器がないそうなので、夏休みに、お母さんと一緒にじゃがいもの皮をむく練習をしました。

まだ少し自信がないけど、料理が得意な友達もいるので、助け合っておいしいカレーライスを作って、みんなで食べたいと思います。沢登りも、みんなでゴールを目指したいです。

二つ目は、習い事をがんばることです。私は、ピアノとフラダンスと英語を習っていますが、その中でもピアノに力を入れています。それは、十二月にピアノの発表会があるからです。

自分一人でひく曲と、友達と一緒にひく連弾の曲を練習しています。連弾は、ただピアノをひくだけでなく、二人でぴったりと息を合わせなければなりません。たくさんの練習が必要だし、友達と心を合わせることも大切です。

私にとって、連弾で発表会に出るのは初めてのことです。緊張(きんちよう)もあるけど、楽しみの方が大きいです。レッスンを以外でも家でも練習を続けて、発表会を成功させたいと思っています。

宿泊体験学習、ピアノの発表会、この2つをせいっぱいがんばることと合わせて、新しいことにもどんどんチャレンジできる2学期にしたいです。みなさんも目標をもって2学期をスタートさせてください。



一学期がんばりたいこと

五年 佐々木 葵

長い夏休みが終わり、いよいよ二学期が始まりました。私が、二学期にがんばりたいことは四つです。

一つ目は、高学年としてのふるまいです。あと半年で私たちは6年生になります。学校のリーダーとして、まずはあいさつをがんばりたいです。

礼儀を正しくし、言葉づかいに気をつけて、下級生から「かっこいい」と思われる「尊敬される」高学年をめざしたいです。

二つ目は、名札をつけることです。担任の大町先生が、「六年生のおねにはいつも名札がついている。五年生との大きなちがいで」と話してくれました。毎朝、名札調べがあっているので、二学期は毎日全員がそろうように、自分がしっかりと名札をつけるようにしたいです。

三つ目は、学校行事に全力で取り組むことです。二学期には、宿泊体験学習があります。ふざけたり、手を抜いたりするといけない出にならないので、全力で真剣に取り組みたいです。班長にも立候補(りっこうほ)しようと思います。五年生みんなでよい思い出づくりをしたいです。

四つ目は、夢の実現に向けて努力(どりよく)をすることです。一学期に、元プロサッカー選手の田中ひでお先生が湯江小学校に来て、夢の授業をしてくださいました。その中で、「自分を信じることによって自信になる」と教えてもらいました。

私には、一級建築士になるという夢があります。みんなからかっこいいと思ってもらえる建物をデザインしたいと思っています。その夢をかなえるためには、勉強を続けなければいけません。将来のために、この二学期、勉強を一生懸命がんばりたいです。

四つの目標をたてましたが、一日一日を大切に、少しずつがんばっていききたいです。全校のみなさんも、「あすなるそうち」をしっかり守って、いい二学期にしていきましょう。



勉強のいちばんの成果は

もっと勉強したくなることです。

二学期は、一番長い学期であり、季節的にも過ぎやすく、学習面も大きな成果が期待されます。

ところで、「どうして勉強しないといけないの」「勉強して何かいいことあるの」という質問を子どもから受けたことがある方は、多いはず。教師もそう。

答えるのはなかなか簡単でなく、時に「そんなこと考えなくていい」と否定したり、「勉強すればわかるよ」と逃げたりする大人が多いのではないか。

実は「勉強すればわかる」というのは、必ずしも間違っているとは言えない。

「勉強してわかるのは、もっと勉強することがあるということ」は事実だからである。だとすれば、勉強の一番の成果は、「学び続ける意欲をもてること」なのかもしれない。

教師は、その問いに自分なりの答えを持っていたい。

私なら「自分で判断して行動できるように」「他者の思いを理解できるように」「協力、協働できるように」

そして「社会に貢献できるように」と答える。

「人間は学びによってその人となる。つまり、学びよのの違いが、その人、その人の違いを生む。」と言われる。子どもの学ぶ意欲が高まるような二学期にしたい。

* 夏休みに行われたインターハイでは、創設したレスリングクラブの教え子が優勝を果たし、日本一の報告してくれました。夏休みには、湯江小学校の卒業生が、学校や担任を訪れてくれる光景に出会いました。この瞬間が、教師冥利に尽きます。

